

令和6年度
水資源調査特別委員会
行政視察報告書

- 1 期 日
令和6年10月22日（火）～10月24日（木）
- 2 視察先及び調査事項
愛知県豊田市
・矢作川研究所の取組について
山梨県北杜市
・水環境の保全と水資源を活用した取組について
- 3 出張者
- | | | | |
|-----|-------|------|---------|
| 委員長 | 伊藤孝司 | 副委員長 | 高橋章哲 |
| 委員 | 真鍋 顕伸 | 委員 | 井上 浩二 |
| 委員 | 西坂 壽彦 | 委員 | 川又 由美恵 |
| 委員 | 佐伯 利彦 | 委員 | 武田 功 |
| 議長 | 楠 學 | 副議長 | 越智 俊幸 |
| | | 随行職員 | 檜 垣 真衣 |
| | | 随行職員 | 細 川 由貴絵 |

10月22日（火）

特 定 調 査 事 項

愛知県豊田市

○ 矢作川研究所の取組について

- 1 研究所の概要について
- 2 ふるさとの川づくり事業について
- 3 その他の活動内容について
- 4 行政・市民の役割と連携について
- 5 これまでの成果と課題について
- 6 今後の取組について

愛知県豊田市

R6. 10. 22 (火)



豊田市矢作川研究所の 取組について

愛媛県西条市 水資源調査特別委員会
行政視察ご対応
令和6年10月22日（火）

豊田市建設部河川課 豊田市矢作川研究所

豊田市矢作川研究所の取組について

- ・ 矢作川と矢作川研究所の概要

事前質問 1, 3

- ・ ふるさとの川づくり事業

事前質問 2

- ・ 市民との連携、役割分担

事前質問 4

- ・ 成果、課題と今後

事前質問 5, 6

流域の暮らしを支える矢作川

やはぎがわ



- ・長野県に源を発し、岐阜県、愛知県の3県を流れ、三河湾に注ぐ一級河川
- ・かつて、物流を支えた舟運、暮らしの中で水や動植物、空間を利用
- ・矢作川本流に農業・工業・上水道・発電用の7つのダムがあり、**矢作川の水は高度に利用**
- ・豊田市は流域の半分を占める

地図は国土交通省豊橋河川事務所資料より



豊田市

都市と山村が共存するまち
市街地で天然アユが釣れる



矢作川流域の環境保全活動史

1901 (M34) 矢作川漁業保護組合設立、魚道設置要望

1914 (T3) 明治用水土地改良区による水源林造成

高度経済成長、流域の乱開発

1969 (S44) 矢作川沿岸水質保全対策協議会が設立

→「矢作川方式」の定着

日本水大賞
第1回グランプリ

1976 (S51) 西広瀬小学校の透視度調査が開始

→矢作川の小さな見張り番

1987 (S62) 矢作川筏下り大会開始

1991 (H3) 近自然工法の導入

1994 (H6) 豊田市矢作川研究所設立

豊田市水道水源保全基金創設

日本水大賞
第1回審査部会特別賞
第23回文部科学大臣賞

豊田市矢作川研究所の設立・歩み

1970 矢作緑地として都市計画決定

1991 豊田市矢作川環境整備計画検討委員会(-93)

検討委員がスイス・ドイツ視察

一つの川に、
一つの博物館を

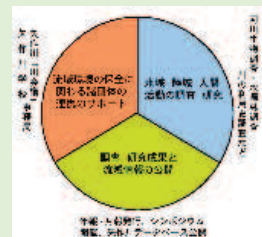
1994 検討委員会の提言を受け、豊田市、
矢作川漁業協同組合、枝下用水土地改良区(当時)
の合同出資による第三セクター方式で設立

2003 市組織に編入

2016 豊田市矢作川河川環境活性化プラン

2024 設立30周年

第26回水大賞環境大臣賞



「良く利用され、なお美しい矢作川の創造をめざして」

矢作川の水や空間は、豊田市の宝物

組織

市長

建設部

河川課

豊田市矢作川研究所

職員10人（R6.9月時点）

所長 宮田 昌和
事務 山本 大輔（兼研究員）
濱野 綾子
川村 香里

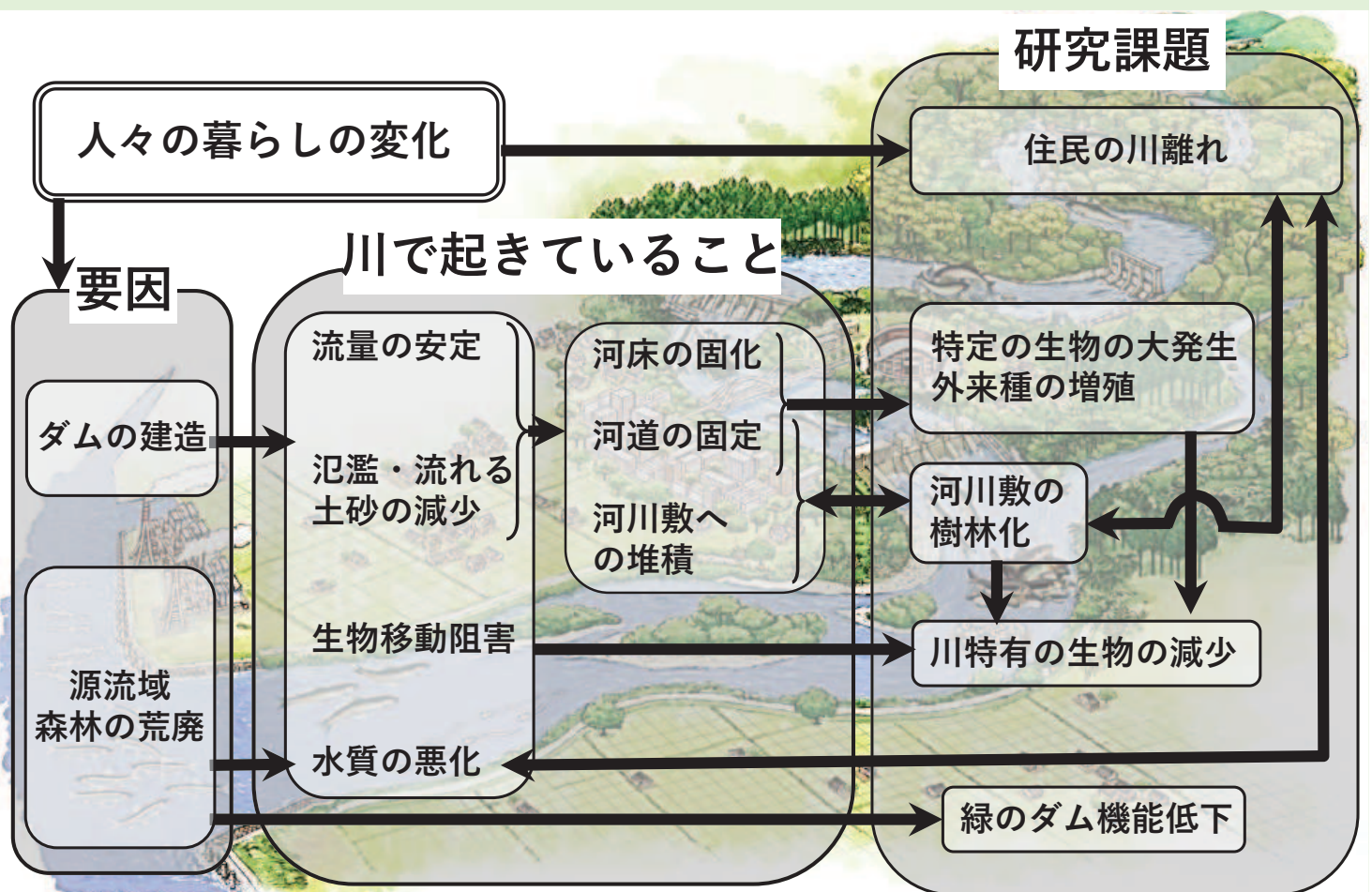
研究員 洲崎 燈子（流域の植物生態）
小野田 幸生（魚類生態学）
白金 晶子（河川の水質・底生動物）
内田 朝子（藻類・プランクトン）
浜崎 健児（昆虫生態学）
吉橋 久美子（人文社会学）

関連団体

- ・天然アユ生態調査実行委員会
- ・河畔環境整備支援検討部会
- ・豊田市アミガメ防除プロジェクト連絡調整会議
- ・矢作川学校実行委員会

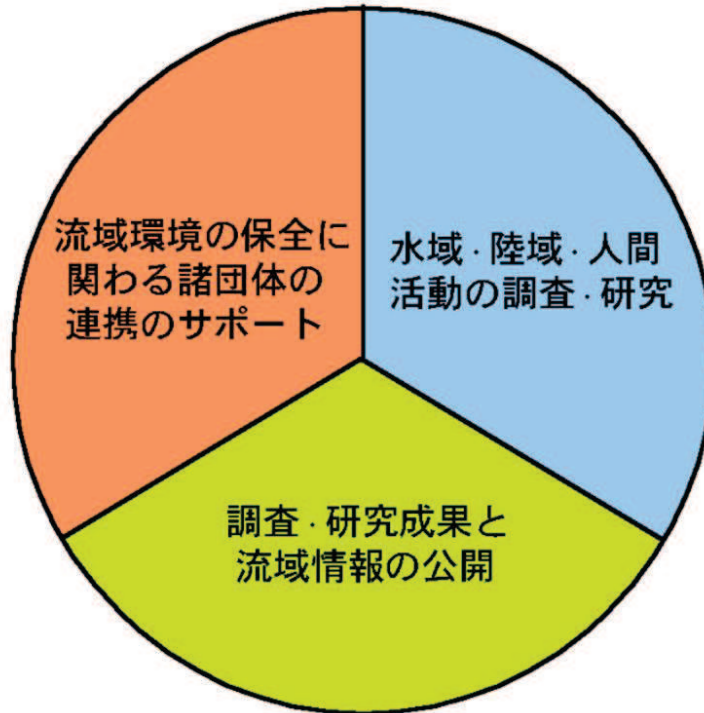
研究企画部会（庁内部局）
アドバイザー

矢作川が抱える問題



矢作川研究所の取組～3つの柱～

矢作川
学校
事務局



河川生物調査・水源林調査
川の利用史調査など

年報・季報発行、シンポジウム
開催、矢作川データベース公開

豊田市矢作川研究所の 取り組み

アユをはじめとするさまざまな生物が命を育み、自然豊かな健康な流域づくりを目指して、矢作川研究所では、矢作川が抱える問題を解決に導くために、行政や市民と一体となって、多彩な活動に取り組んでいます。

アユと川の生き物の
すみやすい川づくり

取り組み1 アユの好きな藻が付く川底を目指します
矢作川の河床改善によるアユの生息環境の回復

天然アユが元気に育たない(釣れない)原因を探るため、餌である藻類の量や質とアユの生息状況を調べるための野外実験を行っています。

取り組み2 アユが卵を産みやすい川に
天然アユの産卵環境改善に向けた調査研究

アユの生息状況や産卵状況を継続的に調査し、調査結果を広く公開しています。

取り組み3 川の健康診断をしています
水生生物モニタリング

矢作川の異変にいち早く気付けるよう、水生生物の生息状況について、モニタリング調査を行っています。

取り組み7 水源林の効果調べよう
水源林モニタリング

水源の人工林で間伐が行われると、森の土を育み、山の恵みをもたらす生物が増えるか調べています。

取り組み5 いい川辺づくりを応援しています
河畔環境整備支援事業

矢作川の川辺が望ましい姿になることを目指し、住民による水辺環境活動をサポートしています。

取り組み8 自然観察会へ講師を派遣しています
矢作川学校

矢作川の豊かな自然や文化を子どもたちに継承するため、出張講座やミニシンポジウムなどを行っています。

取り組み4 自分たちの手でふるさとの川をつくろう！
ふるさとの川づくり事業

土砂や草によって荒廃してしまった身近な小川を、地元住民と一緒に再生する活動を行っています。

取り組み6 みんなで外来種対策を考えよう！
豊田市アカミミガメ防除プロジェクト

在来生態系への悪影響が懸念されているミシシippアカミミガメの防除を通して、身近な自然を育む地域づくりに取り組んでいます。

人と流域、生き物の
関わり強化

天然アユを指標にした調査研究

春季の遡上調査



夏季の生態調査



矢作川天然アユ調査会



冬季の
仔魚調査



川底に大発生した
カワシオグサ



川底に大発生した
カワバリガイ

河畔環境・水源林の調査研究

河畔に密生するタケ類の密度や、河畔林の動植物調査



市民参加型人工林調査
矢作川 森の健康診断へ参画



住民による水辺愛護会活動



千石公園斜面のトラ刈り
昆虫の生息に配慮する管理

団体連携サポート、情報収集・発信

人と人とのネットワーク



保全に関わる諸団体が集まり交流した
矢作川「川会議」



次世代を担う人材を育成する
矢作川学校

流域資料の調査研究、 資料や聞き取りを基にした資料集



季刊誌や研究所報の発行



豊田市矢作川研究所の取組について

・ 矢作川と矢作川研究所の概要

事前質問 1, 3

・ ふるさとの川づくり事業

事前質問 2

・ 市民との連携、役割分担

事前質問 4

・ 成果、課題と今後

事前質問 5, 6



ふるさとの川づくり事業について



約5分の動画で紹介します



生活への不安 → 浚渫



2017.5.29

土砂の堆積
草の繁茂



扶桑町自治区長(当時)より提供2000.9.12
東海豪雨

※この写真はイメージであり、
氾濫は矢作川からの逆流によるものです。

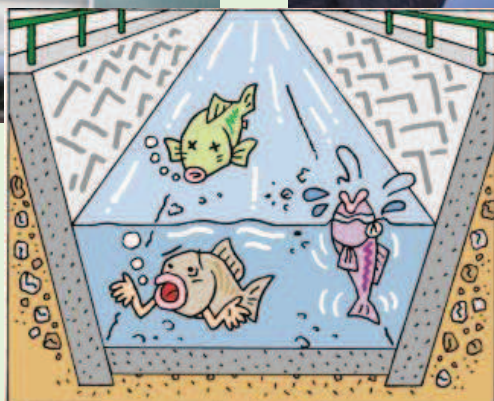
豪雨災害への不安感



地域住民からの浚渫（しゅんせつ）要望



浚渫工事 → 急激な環境改変



単調な環境には特定の生物しか住めない

17

浚渫をきっかけに自然再生？



土砂の溜まりにくい川づくり

18

浚渫 → ふるさとの川づくり



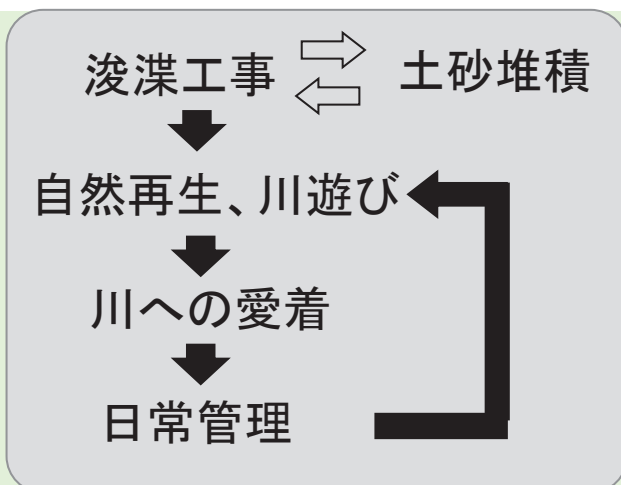
「浚渫してくれるのはいいけど、何年かたったら、また土砂がたまってしまわないか。豪雨も増えているし、川があふれてしまわないか心配だ。」



「川に土砂がたまって草が生え、大雨のときに水が流れにくくなってしまふ。しかし、浚渫^{*}するにも費用がかかるし、生き物への配慮も必要だ。土砂が自然の力で流れるような川づくりはできないだろうか。」



「小川をのぞきこんでも水面は見れないし、川で遊ぶ子どもが少なくなっている。自然が豊かで人が親しめる小川を取り戻すことはできないだろうか。」



子どもが遊べる小川を
みんなで
つくっていきませんか？



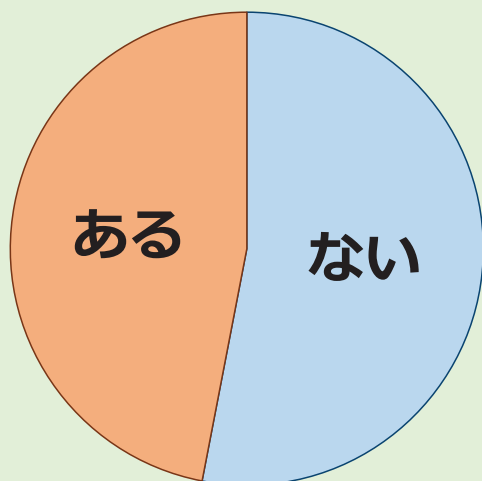
岩本川をモデルにした「ふるさとの川づくり事業」のスタート
豊田市第8次総合計画ほか各種計画に掲載

19

川学習前の子ども

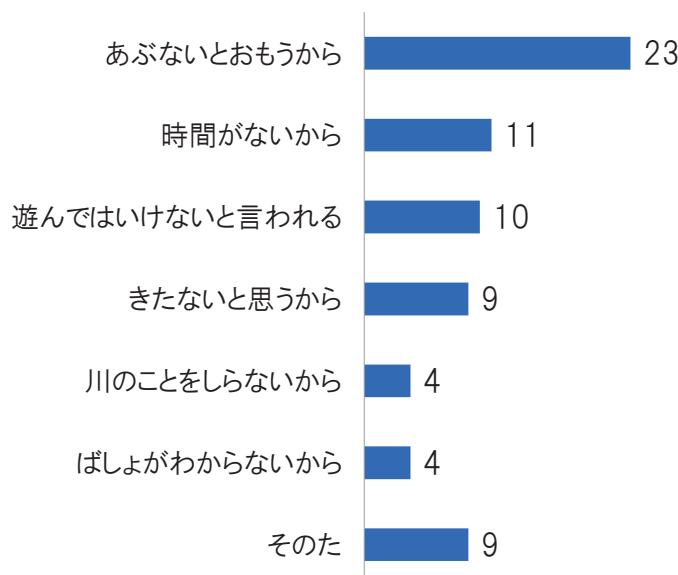
身近な川で
遊んだことがありますか？

岩本川近隣小学校の2年生66人の回答より



身近な川で
遊んだことがない理由

(複数回答可)

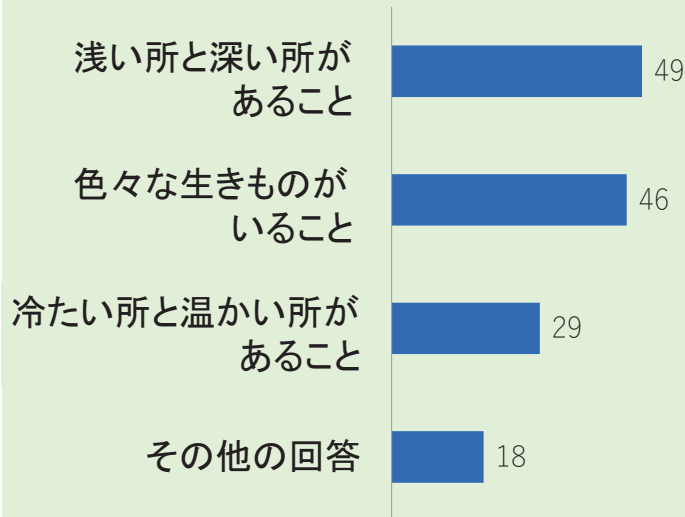


川学習を終えて

川学習で 初めて知ったことは？

(複数回答可)

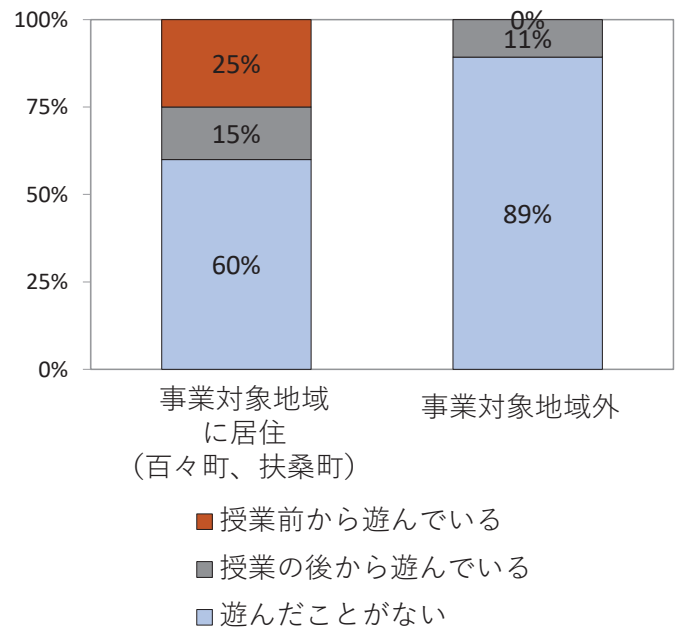
岩本川近隣小学校の2年生65人の回答より



岩本川で 子どもと遊んでいるか？

(複数回答可)

岩本川近隣小学校の2年生の保護者48人の回答より



学芸会で創作劇の題材に



ドジョウ3兄弟がイタズラでお地蔵さんを隠したことから、岩本川に災難が。。。川を治める岩本川様の怒りを鎮めたのは、お父さんたちの川づくりの活動でした。

教育の分野からも高い評価

平井小学校が第54回「博報賞」の奨励賞を受賞



「ふるさとの川」での多面的な学習が
日本文化・ふるさと共創教育の分野で評価

23

豊田市矢作川研究所の取組について

・ 矢作川と矢作川研究所の概要

事前質問 1, 3

・ ふるさとの川づくり事業

事前質問 2

・ 市民との連携、役割分担

事前質問 4

・ 成果、課題と今後

事前質問 5, 6

矢作川研究所の市民連携

設立当初から市民や地元企業等と連携。
これは研究員の労力を補う意味もありながら、
市民がより深く現状を理解し、
当事者意識を持って行動することにつながる



共働

ふるさとの川づくり 2団体
水辺愛護会・河畔林愛護会 25団体
アカミガメ防除プロジェクト 7団体

協力 調査員

河川調査補助
室内分析補助

講師

小学校等への講師派遣（矢作川学校）

豊田市の水辺愛護会



- ・ 25団体（令和5年4月時点）
- ・ 矢作川沿いの自治区住民で構成
- ・ 水辺の生態的管理



成果

川が見えるようになった、
川に行けるようになった、
人々のつながりが強まった

課題

継続性の不安、
生態系への効果が不明

住民による いい川辺づくりを支援

水辺愛護会活動の活性化

- ・川辺づくりガイドブック作成
- ・各愛護会で目標の見える化
計画図作成⇒植物調査フォロー
⇒植生管理手法の提案
- ・楽しみの創出（川辺の恵み利用）
- ・企業等ボランティアとのマッチング



産官学民連携のモデル構築



あいつま めがわ 逢妻女川
あいつま おがわ 逢妻男川

豊田市生物調査報告書（平成28年3月）を改定

特定外来生物指定に向けた動き
環境省がプロジェクト推進

豊田市の取組

- 市民でも防除ができるか
- ・どんな体制で？
 - ・どんな手順で？

豊田市の成果は、
環境省作成の手引きに活用

令和5年6月1日規制開始
（条件付き特定外来生物として）



(平成29年～平成30年)

豊田市アカミミガメ防除プロジェクト実行委員会

民

逢妻女川

逢妻男川

自治区

宮口上・宮口一色・宮口新田・本地新田・
千足町・本地・高岡町・前林・大島町・
西岡町・本田・堤本町・堤町・上丘・
駒場・中田

土橋・東田・竹上・竹中・竹下・本町・
若林・吉原町・中根・花園町

市民団体

高岡公園・逢妻女川を守る会
逢妻女川を考える会

若園地区コミュニティ会議
初音川ビオトープ愛護会

産

学

官

トヨタ自動車(株)堤工場
トヨタ車体(株)吉原工場

愛知学泉大学

環境省中部地方環境事務所
豊田市矢作川研究所
豊田市環境部環境政策課

豊田市矢作川研究所の取組について

・ 矢作川と矢作川研究所の概要

事前質問 1, 3

・ ふるさとの川づくり事業

事前質問 2

・ 市民との連携、役割分担

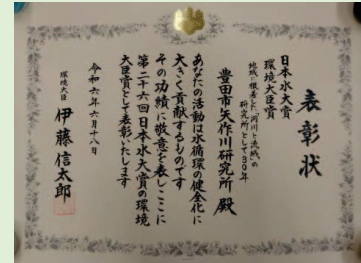
事前質問 4

・ 成果、課題と今後

事前質問 5, 6

成果

長期にわたる調査研究により
矢作川の自然環境をある程度把握
アユの生息に関わる保全対策
川辺の生態的管理の提示
川を生かしたまちづくりへの提言
広報事業や出前授業により
河川環境の啓発
環境や文化を守る人材育成



課題と今後

一方で、河川環境の問題を解決するための具体策を現場に提供することについては、まだまだ試行錯誤しており、引き続きの課題と捉えています。

より多くの市民が川を知り、川に関わり、豊田市そして流域の宝物としての矢作川を見守ってもらえるよう引き続き活動していきたいと考えています。



10月23日（水）

特 定 調 査 事 項

山梨県北杜市

○ 水環境の保全と水資源を活用した取組について

1 地下水保全の取組について

- (1) 地下水資源の現状について
- (2) 地下水の保全に関する条例について
- (3) 北杜市白州町地下水保全・利用対策協議会について
- (4) その他の取組について

2 環境保全協力金（寄付金）について

- (1) 協力金の概要と取組に至った経緯について
- (2) 協力金の活用状況と市民・事業者との連携について
- (3) 現在の課題と今後の取組について

3 「水の山」プロジェクトについて

- (1) プロジェクトの概要と取組に至った経緯について
- (2) 具体的な取組内容と市民・事業者との連携について
- (3) 現在の課題と今後の取組について

山梨県北杜市

R6. 10. 23 (水)



令和6年10月23日

愛媛県西条市議会視察資料



水環境の保全と水資源活用した取組 「地下水保全の取組について」

山梨県北杜市 建設部 まちづくり推進課



Hokuto City

北杜市の概要（参考）



人口 44,053人 2020年(R2)国勢調査
45,516人 (R6/10/1 住民基本台帳)

今年合併20周年を
迎えました。



- 平成16年（2004年）11月1日、明野村・須玉町・高根町・長坂町・大泉村・白州町、武川町の7町村が合併し「北杜市」が誕生、平成18年（2006年）3月15日、小淵沢町が合併し現在に至る。
- 山梨県北西部に位置し、総面積は602.48Km²（県内最大）
- 山紫水明の地
山⇒北はハヶ岳連峰、南西は甲斐駒ヶ岳から連なる南アルプス、東は茅ヶ岳、北東は瑞牆山などに囲まれている。（8割弱が森林）
紫⇒国蝶オオムラサキの里（生息数日本一）
水⇒尾白川、ハヶ岳南麓湧水群、金峰山・瑞牆山源流の3地点が名水百選に選定
ミネラルウォーター生産量日本一
明⇒日照時間日本一



1 地下水資源の現状

地下水モニタリング第三者評価事業

南アルプスユネスコエコパークエリア（白州町）における地下水について
令和4年度モニタリング実績に基づく評価（令和5年度実績報告書）

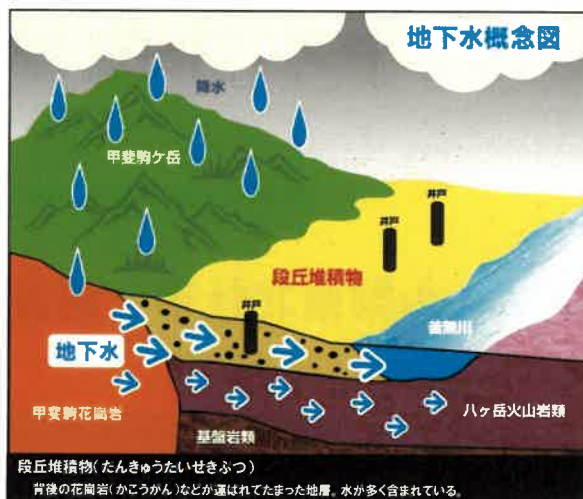
北杜市では、「北杜市白州町地下水保全・利用対策協議会」による白州町内設置の4か所の観測井から得た地下水データをもとに、年間の水収支の関係情報について評価を行っています。

地下水のしくみ

【図1】
地下水循環の概念図

甲斐駒ヶ岳をはじめとする南アルプスの山々に降った雨や雪は、花崗岩を多く含む山麓の地層に浸透し、地下水として流れていくと考えられています。

地下水は、雨や雪が地層に浸透し生み出されているため、雨や雪が降る限り、なくなることはありません。



2

1 地下水資源の現状

地下水の観測

白州町地域は、地下水を原料として食品を製造する企業が多く立地しています。また、地下水は市営の上水道の水源としても利用されていることから、水又は地下水に対する関心が高い地域といえます。そこで、地下水を利用する企業と将来にわたって地下水を安定的に利用できるよう地下水保全の取組を推進することを目的として、「北杜市白州町地下水保全・利用対策協議会」を設立しました。

協議会では、平成11年に地下水観測のための井戸を設置し、将来も安定的に地下水の利活用ができるよう継続的に地下水位を観測しています。
地下水の水位観測は、図のように4カ所で実施しています。

【図2】
地下水位観測地点
(出展：国土地理院ウェブサイト 地理院タイルを加工して作成)



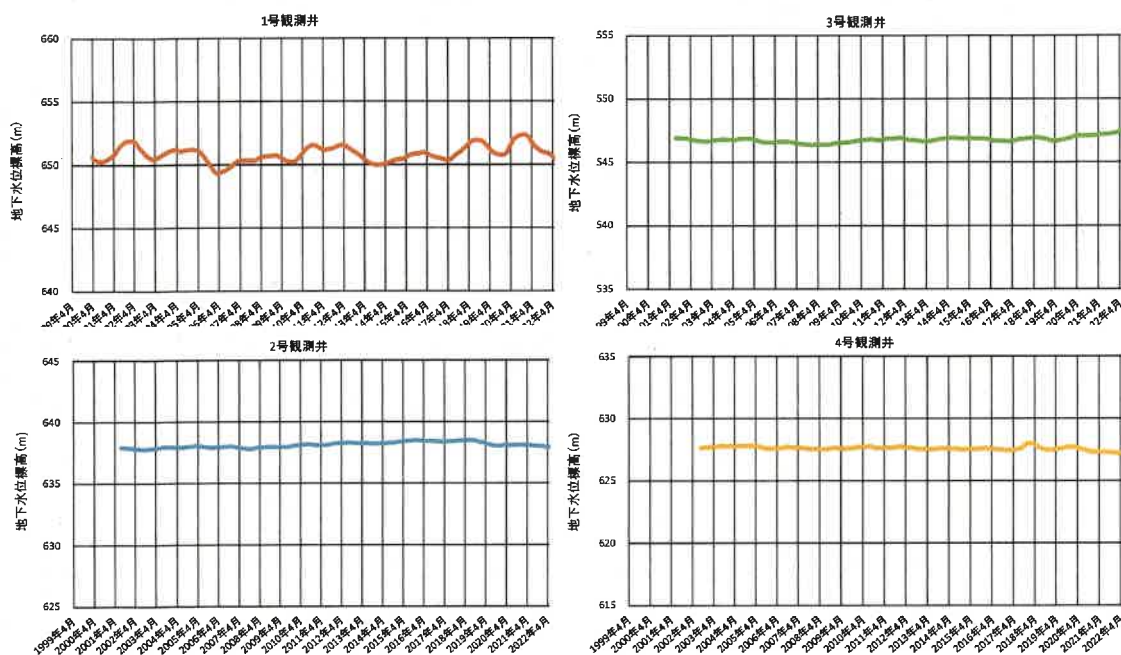
3

1 地下水資源の現状

地下水の水位

観測井における地下水位の変動は、以下の図に示されたように推移しています。
(※各図中の地下水位は各月の平均水位を12ヶ月中心化移動平均処理して季節性を取り除いたもの)

【図3】
観測井地下
水位図



4

1 地下水資源の現状

地下水観測結果に対する評価

水位の観測は、井戸掘削等の専門業者に委託し実施しており、当該地域の水収支の報告内容に対して、地質学・地下水学等の観点から総合的な考察を加えるため、専門家（興水達司：山梨県立大学客員教授）に客観的な評価をいただいております。

評価結果の概要については、次のとおり。

- 降水量については、概ね安定的に推移している。
- 揚水量については、ここ数年は極端な増加は認められず、水収支の点から望ましい傾向にある。
- 地下水位については、安定的な状態で推移している。
- 地下水位データは継続観測が重要であり、今後も地下水保全のための観測を継続的に実施していくことが重要である。



水収支の観点から問題のない状況にある。

5

2 地下水の保全に関する条例

北杜市地下水採取の適正化に関する条例

貴重な水資源を保全するため、井戸掘削、地下水採取には事前に市長の許可を得る必要があります。

地下水の採取にあたっては、「規制区域」が設けられています。

(条例施行前の既存井戸は規制の対象外)

地 域	規 制 区 域
公共用水道水源の周辺地域	公共用水道の水源から半径250m以内の区域
湧水資源の重要な地域	大湧水の周辺地域 大湧水（北杜市大泉町谷戸5681-2）を中心として、東は上流唐沢川、下流泉川、西は宮川、南は農道大泉谷戸51号線、北はJR小海線に囲まれた区域
	その他の湧水地域 湧水から500m以内の区域
地形上地下水資源のきわめて重要な地域	北杜市長坂町の区域でJR小海線から上（北）の区域

上記の規制区域では、原則、新たな井戸の掘削は許可していません。

6

2 地下水の保全に関する条例

【許可の基準】

- 1 県または市が定める土地利用計画に反しないこと
- 2 隣接する既設井戸に支障を及ぼさない程度の採取量であること（個人住宅は支障なしと判断：近隣に周知）
- 3 他の水をもって替えることが困難なこと
- 4 地下水を申請の用途に供することが、必要かつ適当と認められること
- 5 排水対策が十分に講じられていること
- 6 量水器が設置されていること
- 7 自噴井については、制水設備の設置等により流出対策が講じられていること

・本市においては、採取量の具体的な数値設定はありません。事業用井戸の場合は、隣接井戸所有者や行政区長（自治会長）に事業説明を行い、同意書を求めることで基準を満たすものとしています。

・他に水を得る手段がある場合は許可していません。給水区域であっても、水道配管が整備されておらず、自費で引き込むことが困難な場合など（径が足りず給水量が確保できない）は、上下水道局の意見を聞いて判断しています。

・農業については、水路の水を利用することが大前提ですが、事業形態も多様化し地下水を利用する場合も増えていきます。農業の用途に供することが必要かつ適当と認められることが必要です。事業として成り立つレベルであることを担保するため、法人等の概要や事業計画をなるべく公的な書面で確認しながら運用しています。

7

2 地下水の保全に関する条例

地下水採取許可件数（変更も含む）

年 度	R1	R2	R3	R4	R5	R6 現時点	12件
件 数	23	30	20	36	22		

白州町・武川町エリアについては、平成26年に南アルプスユネスコエコパークに登録されたことから、新たな地下水保全と活用のルールづくりのため、井戸設置許可にあたり審査すべき事項と配慮すべき事項を定めた「地下水採取井戸設置に係るガイドライン」（平成30年）を策定しました。対象地域内で生産製造過程において地下水を利用する事業を行う場合は、条例に基づく許可申請に加え、ガイドラインに基づく計画書を提出していただきます。

【地下水採取量の調査を実施している企業】

- ・サントリープロダクツ(株)（天然水南アルプス白州工場） 北杜市白州町鳥原
- ・熊本県果実農業協同組合連合会（白州工場） 北杜市白州町下教来石
- ・コカ・コーラボトラーズジャパン(株)（白州工場） 北杜市白州町下教来石
- ・(株)シャトレーゼ（白州工場） 北杜市白州町白須
- ・(株)ユイト・ラボラトリーズ（ハヶ岳工場） 北杜市長坂町渋沢
- ・(株)キッツ（長坂工場） 北杜市長坂町長坂上条
- ・HOYA(株)（長坂事業所） 北杜市長坂町中丸
- ・(株)村上農園（山梨北杜生産センター） 北杜市明野町上手

8

3 北杜市白州町地下水保全・利用対策協議会

●経緯

- ・地下水を使って仕事をしている企業にとって、水は生命線である
 - ・取水が可能な量を科学的に分析する
 - ・21世紀に向け自然と調和した企業づくりを進める
- ⇒住民と行政、企業が一体となって地下水保全を考えていきたい！

●設立…… 1998年（平成10年）5月28日

設立時構成団体（6団体）

サントリー(株)白州蒸留所、熊本県果実農業協同組合連合会、(株)シャトレーゼ白州工場
泉食品(株)白州工場、白州ヘルス飲料(株)、白州町（簡易水道）

設立時の事業計画

- ★町内の水準点測量を実施
- ★検査井戸の掘削設置（4カ所）…観測井を設置し水位を定点観測
- ★町内水脈調査の実施
- ★地下水、町内河川の水質調査の実施など

9

3 北杜市白州町地下水保全・利用対策協議会



Hokuto City

●規約（抜粋）

（設置の目的）

第2条 協議会は、北杜市白州町の地下水を将来ともに安定的に利用できるよう地下水の適正かつ合理的な利用と地下水質の保全、地下水の涵養等地下水の保全の取り組みを推進し、もって生活水の確保及び地域産業の健全な発展を図ることを目的とする。

（定義）

第3条 この規約にいう「地下水利用者」とは、事業の用に供するため北杜市白州町内において掘削した井戸により年間100,000㎥（10万トン）以上の地下水を採取する者をいう。

（事業）

第4条 協議会は、第2条の目的を達成するため、次に掲げる事業を行う。

- （1）地下水対策に必要な調査に関すること。
- （2）地下水の保全に関すること。
- （3）地下水の保全に係る啓発に関すること。
- （4）地下水の合理的な利用に関すること。
- （5）地下水質の保全に関すること。
- （6）地下水の涵養に関すること。
- （7）その他目的を達成するために必要な事項に関すること。

10

3 北杜市白州町地下水保全・利用対策協議会



Hokuto City

●規約（抜粋）

（会員及び会費等）

第5条 協議会は、第3条に規定する地下水利用者をもって会員とする。

2 会員は別表に定める会費又は負担金を納入するものとする。

（総会の議決事項）

第9条 総会は、次に掲げる事項を協議決定する。

- （1）規約の制定及び改廃に関すること。
- （2）役員の選任に関すること。
- （3）事業計画の設定及び変更に関すること。
- （4）予算及び決算に関すること。
- （5）その他、地下水対策の推進に関すること。

（賛助会員）

第10条 協議会の趣旨に賛同する個人及び事業者、団体等を賛助会員とすることができる。

- 2 賛助会員は、協議会が行う事業活動に参加する。
- 3 賛助会員は、別表に定める賛助会費を納入するものとする。

3 北杜市白州町地下水保全・利用対策協議会



●規約（抜粋）

別表（第5条関係）第5条第2項に規定する地下水利用者たる会員の会費は、次のとおりとする。

- 1 会費（均等割）200,000円とする。（通常の場合）
- 2 特別事業を行う場合は、各会員の汲上量に応じて按分する。
 - 地下水採取量は、協議会の事業年度の前々年度の採取量とする。
 - 町内に複数の井戸を所有している地下水利用者の地下水採取量は、その採取量の合計とする。
- 3 年度途中に新規加入の場合は、計画採取量を月割りで按分し、協議会で決定する。

別表（10条関係）第10条第3項に規定する賛助会費は、次のとおりとする。

- 1 企業（法人）会員 1口5,000円（年間）とし、10口まで加入できる。
- 2 個人会員 1口1,000円（年間）とし、10口まで加入できる。

北杜市白州町地下水保全・利用対策協議会 会員 2024（R6）年10月1日現在

会長	サントリープロダクツ株式会社天然水南アルプス白州工場	北杜市白州町鳥原2913-1
副会長	熊本県果実農業協同組合連合会白州工場	北杜市白州町下教来石14-2
監事	株式会社シャトレゼ白州工場	北杜市白州町白須8383-1
	コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社白州工場	北杜市白州町下教来石300-1
	北杜市（上下水道局）	

12

3 北杜市白州町地下水保全・利用対策協議会



●活動状況 地下水観測モニタリング

観測井戸	口径	深度	所在地
1号観測井	150mm	72.10m	白州体育館（北杜市白州町鳥原2913-208）
2号観測井	150mm	50.00m	下教来石污水处理施設（北杜市白州町下教来石870-1）
3号観測井	150mm	25.10m	台ヶ原污水处理施設（北杜市白州町台ヶ原424-3）
4号観測井	150mm	63.00m	白州保育園・西部こども園（北杜市白州町白須1140-1）

【業務内容】

・毎月1回、地下水観測井の機器点検を行うとともに、1ヶ月ごとに地下水観測データを整理し、調査地域における地下水の状況を検証しています。（専門事業者に委託）

1 機器点検、 2 水位観測データ処理、 3 降水量の推定値試算、 4 揚水量データ修正

・水位計自体の交換 10年程度、 リチウム電池の交換 2年に1回程度

●活動状況 地下水観測モニタリング第三者評価

・地下水観測モニタリング業務は、協議会自らによるものであることから、協議会からモニタリングのデータ提供を受け（協力）市が第三者（専門家）による水位観測をはじめとした当該エリアの水収支について評価を実施しています。

将来にわたって安定的に利用できるよう地下水保全の取組推進につなげる。

13

日本名水百選

ミネラルウォーター生産量日本一

環境保全協力金制度



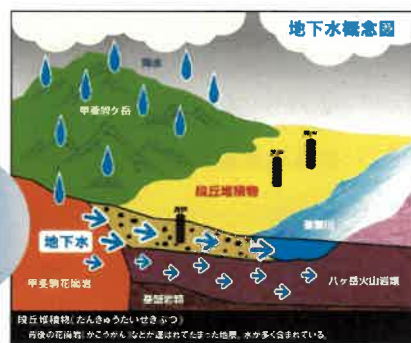
北杜市地下水採取の適正化に関する条例

- ・井戸設置のルール
- ・規制地域の設定 (公共水道水源・湧水資源等)

地下水資源保全の取組

北杜市白州町地下水保全・利用対策協議会

- ・北杜市白州町内で100,000㎡以上の地下水を採取する企業等で構成
- ・協議会により地域内に4つの観測井を設け、降水量・揚水量をもとに水位変動をモニタリング
- ・モニタリングデータに基づき、第三者（専門家）による評価を実施



14

4 その他の取り組み

●AWS (Alliance for Water Stewardship) 責任ある水資源管理

・AWS (アライアンス・フォー・ウォーター・スチュワードシップ) とは？

2010年に世界自然保護基金 (WWF) やThe Nature Conservancy (TNC)、世界資本連合 (NCC) 等のNGOと主要な企業や学術機関が共同で設立した「水のサステナビリティをグローバルに推進するための機関」です。

AWS認証は、世界中の工場を対象とした「持続的な水利用に対する認証制度」で、水の保全やスチュワードシップ（管理する責任）の推進を目的としています。

Water Stewardshipとは、責任ある水資源管理の基本的概念です。

水資源は常に循環する資源であり、集水域の人々やそこにいる生物すべての共有資源です。

水資源を持続的に活用するためには、集水域や関連する地域の水資源の特性を理解し、水資源管理を行う必要があります。AWS認証は基本的に拠点（工場）ごとの取得になり、各基準の指標によって達成状況を評価され認証を受けることができます。

●AWSの日本におけるパイオニア → サントリー

2018年、サントリー天然水奥大山ブナの森工場（鳥取県）で日本で初めてとなるAWS国際認証を取得。

2019年、サントリー九州熊本工場（熊本県）、2021年、サントリー天然水南アルプス白州工場（山梨県）で取得。

2023年、サントリー九州熊本工場で認証レベル最高位である「Platinum」認証を取得。

●海外を中心にAWS認証取得の動きが加速。今後、認証を受ける企業拠点は増えていくと考えられます。

令和5年10月23日

愛媛県西条市議会議員研修

水環境の保全と水資源を活用した取組について

環境保全協力金



山梨県北杜市

市民環境部 環境課 環境保全担当

水源環境の保全を通じた地域活性の取組

■北杜市環境保全協力金

- ・制度概要
- ・基金としての活用内容
 - ①市民提案型「環境保全事業補助金」
 - ②市実施事業

1 北杜市環境保全基金・協力金

・概要

本市の貴重な森林や水資源等の自然環境の保全に資する施策を円滑に推進し、次世代に引き継いでいくため、平成20年度に設置



企業の皆様からの「環境保全協力金」

と

個人の皆様からの「ふるさと納税」

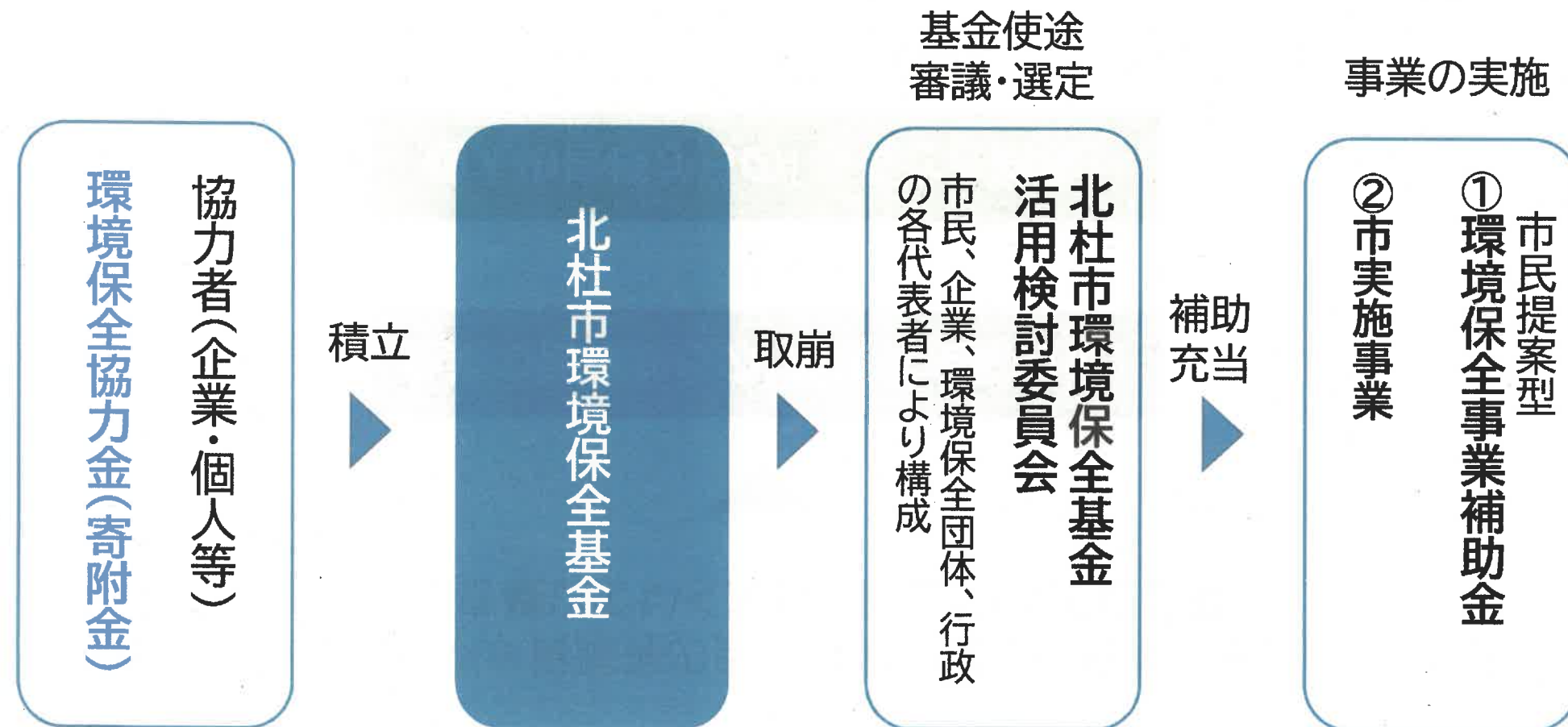
の寄附金を積立・運用

・運用状況

令和5年度実績として、協力企業数74件、協力金額32,730千円

1 北杜市環境保全基金・協力金

・制度の枠組み



1 北杜市環境保全基金・協力金

・基金活用のテーマと対象事業

「森を育て、水を守る」をテーマとした次の事業

- ・環境保全事業
- ・環境教育事業
- ・南アルプスユネスコエコパーク及び甲武信ユネスコエコパーク関連事業

・基金を活用した事業の実績

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5
市民提案型 (補助金交付)	-	9	7	10	13	14	12	11	12	16	17	18	12	16	12	15
市実施事業	2	18	3	2	5	6	13	8	11	11	11	8	9	9	5	5

①市民提案型・環境保全事業補助金

・補助金交付事例



子ども環境フェスタ
(北杜市地球温暖化対策・
クリーンエネルギー推進協議会)



ホタルの飛び交う里づくり事業
(台ヶ原ふるさとづくり協議会)

①市民提案型・環境保全事業補助金

・補助金交付事例



砂防校外授業
(NPO法人甲斐駒清流懇話会)



市の動物「ヤマネ」を保護するための研究:
出張授業
(ニホンヤマネ保護研究グループ)

②市実施事業

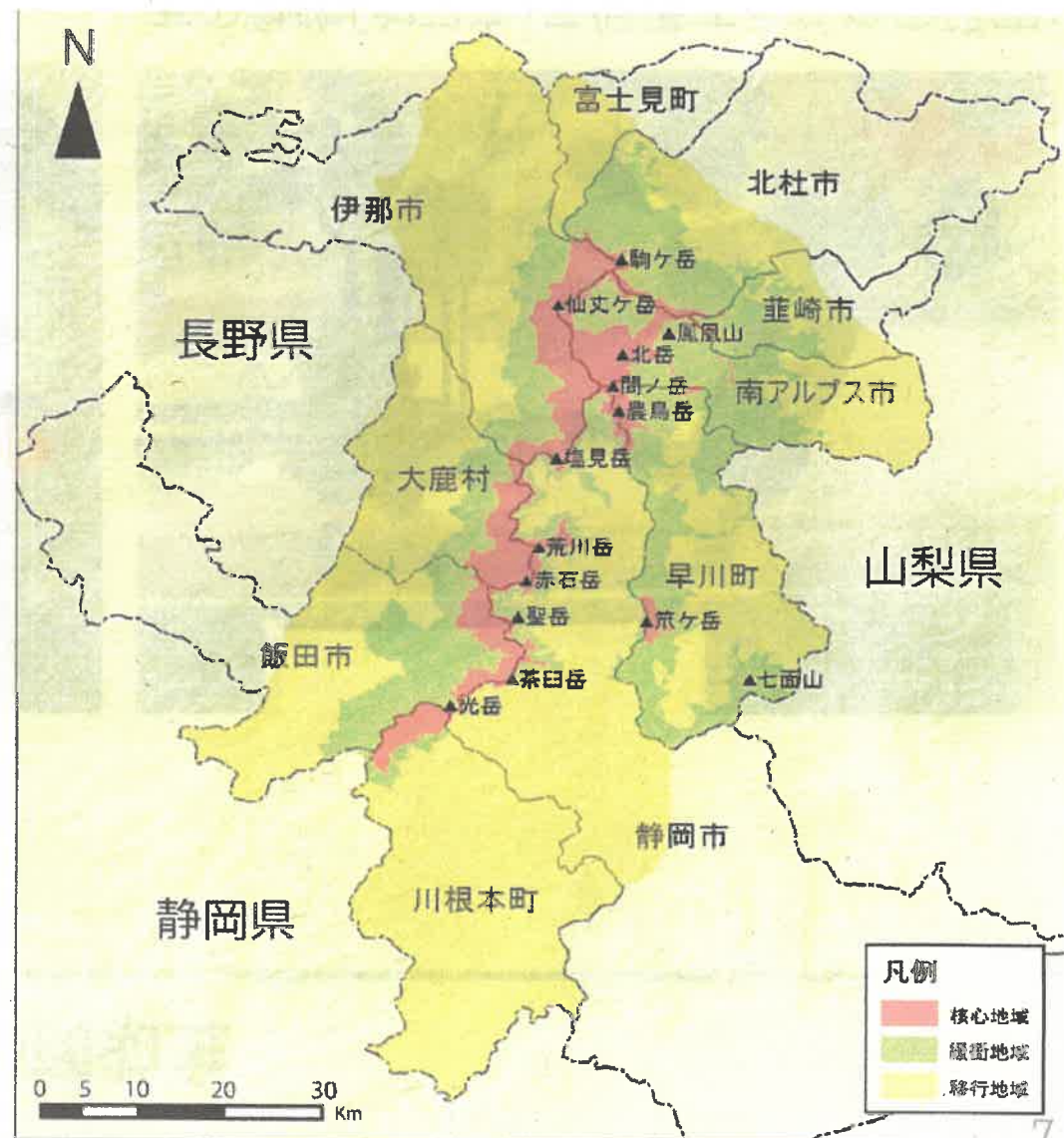
・市実施事例 「南アルプスユネスコエコパーク推進事業」

○ユネスコエコパーク(BR)の概要

- ・地域の自然と文化を守りながら、地域社会の発展(自然と人間社会の共生)を目指す取組
- ・平成26年に登録
- ・総面積 302,474ha
- ・山梨県、長野県、静岡県の10市町村にまたがるエリアで構成



南アルプスユネスコ
エコパークの
シンボルマーク
(ライチョウが目印)



②市実施事業

・市実施事例 「南アルプスユネスコエコパーク推進事業」

○令和5年度予算計上事業

- 1 森林整備等財産区活動支援事業
- 2 白州町地下水保全・利用対策協議会モニタリング事業
- 3 伝統芸能等保存事業
- 4 環境保全普及啓発事業
- 5 動植物保全活用次世代育成事業
- 6 PR・情報発信事業
- 7 地域の魅力掘り起し事業
- 8 関係市町村との連携事業

②市実施事業

・市実施事例 「南アルプスユネスコエコパーク推進事業」

○動植物保全活用次世代育成事業

「市民参加による生きものの調査」を実施及びリーダー育成



②市実施事業

・市実施事例 「南アルプスユネスコエコパーク推進事業」

○地域の魅力掘り起こし事業



狼煙上げ事業



展望台周辺に、中山に自生する
ツツジやモミジを植樹

・市実施事例 「甲武信ユネスコエコパーク推進事業」

・地域の自然と文化を守りながら
地域社会の発展(自然と人間
社会の共生)を目指す取組

-

甲武信ユネスコパーク登録エリア図



②市実施事業

・市実施事例

○令和5年度予算計上事業

- 1 森林整備等財産区活動支援事業
- 2 環境美化事業
- 3 環境教育事業
- 4 PR・情報発信事業
- 5 関係市町村との連携事業

②市実施事業

・市実施事例 「甲武信ユネスコエコパーク推進事業」

○環境美化事業

北杜高校生徒による、みずがき湖環境美化活動



②市実施事業

・市実施事例 「甲武信ユネスコエコパーク推進事業」

○環境教育事業

市内小中学生を対象とした生態系調査(水生物調査)



②市実施事業

・市実施事例 「世界に誇る『水の山』北杜ブランド事業」

○概要

世界に誇る「水の山」宣言

- ・南アルプスなど、恵まれた自然環境によって育まれた本市の名水を活かしたブランド事業の推進
- ・日本だけでなく世界でも貴重な水源のひとつとして、日本を代表する名水の地となることを目指す



世界に誇る「水の山」宣言時の様子
(平成27年5月19日)

②市実施事業

・市実施事例 「世界に誇る『水の山』北杜ブランド事業」

○概要

「水の山」プロジェクトの発足

市の資源である「水」と「山」のブランド推進と地方創生を目指し、

地元企業と「『水の山』パートナー協定」を結び、

パートナーシップによる取組を進めるプロジェクト



ブランドイメージ

「水と暮らすサステナブルな街」

②市実施事業

・市実施事例 「世界に誇る『水の山』北杜ブランド事業」

○これまでの取組



ミズクマ®

世界に誇る水の山

北杜市

ブランドイメージキャラクター
「ミズクマ」



「水の山感謝祭」
こども地球ワークショップ



「水の山感謝祭」
未来トーク



水の山映像祭
短編映画の製作
「虎をかぶりて、駆けてく」



「水の山」フォトコンテスト

②市実施事業

・市実施事例 「環境教育推進事業」

○目的

本市の豊かな自然環境を守るため、環境に関心をもち、環境保全活動に参加する態度や問題解決に資する能力を育成する。

○事業内容

- 1 小中学校環境学習プログラム体験事業
- 2 環境教育リーダー養成講座
- 3 北杜市子ども環境フェスタ開催事業
- 4 親子環境学習会
- 5 幼児環境教育プログラム体験事業
- 6 花育推進事業(花を植え自然に親しむ事業)

②市実施事業

・市実施事例 「環境教育推進事業」

○幼児環境教育プログラム体験事業



②市実施事業

・市実施事例 「環境教育推進事業」

○環境教育リーダー養成講座



おわりに

○今後について

- ・環境保全協力金の財源確保
- ・本市の貴重な水資源を保全していくため、あらゆる観点から活動を進めていく
- ・市民、企業、行政が連携し、「森を育て、水を守る」活動を継続



人と自然と文化が躍動する
環境創造都市を目指して

環境保全協力金(寄附金)について

■創設の経緯

北杜市は、かねてより南アルプス、八ヶ岳、瑞牆山、茅ヶ岳など日本を代表する山岳景観に囲まれた文字どおり「杜のまち」で、国蝶オオムラサキの生息数やミネラルウォーターの生産量、日照時間の長さがいずれも日本一など豊かな自然環境に恵まれた地域であり、これらを適切に保存し、次世代に引き継いでいくことは重要事項の一つでありました。

そこで、環境保全を目的とした財源の確保等について、庁内検討会にて検討を重ねた結果、森林及び地下水の保全という喫緊の課題に対応するなかで、本市の将来像である「人と自然と文化が躍動する環境創造都市」の実現に向け、平成20年度に「北杜市環境保全協力金」制度を創設し、地域の環境資源を利用する者が、社会的責任を果たす方法として、強制力を伴わない「協力金」という形で対象者等を限定せずに寄附を募ることとなりました。

■北杜市環境保全協力金について(概要)

目 的	市民共有の貴重な財産である緑豊かな森林や清らかで豊富な水資源等の自然環境を適切に保全し、これらを良好な状態で次の世代に引き継いでいくことを目的として、自然環境の保全に資する施策を円滑に推進する。
協力金の対象者	環境保全協力金(寄附金)の趣旨に賛同いただける方
協力金の額	寄付者の任意とします。
使 途	【人と自然と文化が躍動する環境創造都市】の実現 「森を育て、水を守る」をテーマとした環境保全活動 ○環境保全事業 ・森林、河川における環境保全活動 ・動植物の保護活動 ・環境調査活動 など ○環境教育事業 ○南アルプス・甲武信ユネスコエコパーク関連事業 ・エコパークエリア内における自然、文化を守る活動 ・エコパークエリア内の地域の発展を目指す活動 など
基金の設置	用途を明確にするため、環境保全協力金(寄附金)を主な財源に基金として積み立てます。
基金の名称	北杜市環境保全基金

税控除	(個人)
	所得税法上及び地方税法上(住民税)の寄附金控除の対象
	(法人)
	法人の場合は法人税法上、損金算入の対象

■協力金の活用状況と市民・事業者との連携について

前述のとおり平成20年度に「北杜市環境保全協力金」制度を創設し、これまでに企業をはじめ多くの皆様からの御支援をいただくなかで、平成26年6月に南アルプスを取り巻く静岡、長野、山梨県の関係10市町村と連携のもと進めてきた南アルプスユネスコエコパークに登録されたことを契機に、さらなる甲斐駒ヶ岳を中心とした地域の優れた自然環境を保全しながら、自然と人が共生する魅力あるまちづくりを市民、企業の皆様や各種団体と協力し、取り組んでおります。

この世界的にも認められた本市の自然を、次世代に引き継いでいくため、頂いた協力金を里山の整備、環境教育の推進、地下水の保全などに活用しているとともに、市民からの提案による河川の清掃活動や環境調査等の事業活動に対して補助金の交付を行い、市民、行政が一体となって、持続可能なまちづくりを行っています。

なお、協力金の依頼については、ホームページや市の広報等での告知をはじめ、関係各課と協議、調整するなかで、トップセールス等の企業訪問の際にも実施しています。

過去5年間の環境保全基金の協力企業と協力金の実績

年度	件数	金額(千円)
令和元年度	77	39,515
令和2年度	81	39,182
令和3年度	87	39,358
令和4年度	77	33,455
令和5年度	74	32,730

過去5年間の環境保全事業の実績(市民提案型事業)

年度	市民提案 (件)	補助金交付確定 額(千円)	各課事業 (件)	充当額 (千円)
令和元年度	18	4,595	8	45,069
令和2年度	12	2,648	9	33,522
令和3年度	16	2,498	9	35,883
令和4年度	12	2,858	5	39,930
令和5年度	15	3,515	5	39,401

愛媛県西条市議会
水資源調査特別委員会様
行政視察資料

令和6年10月23日
北杜市役所 産業観光部 観光課



世界に誇る「水の山」へ

世界に誇る
「水の山」プロジェクト



世界に誇る「水の山」プロジェクトの原点

『ユネスコエコパーク』

3

ユネスコエコパークとは

「生態圏の保全と持続可能な利活用の調和(自然と人間社会の共生)」

を目的とするユネスコプログラムのひとつ。



「守る!!(保全!!)」



「守る!(保全!)+使う(活用!)」

4

世界に誇る「水の山」へ

市内2つのユネスコエコパーク



南アルプスユネスコエコパーク

平成26年6月12日登録

『高い山、深い谷が育む
生物の多様性』



甲斐駒ヶ岳



甲武信ユネスコエコパーク

令和元年6月19日登録

『山と源流と大地に生きる』



碓氷山

5

世界に誇る「水の山」へ

南アルプスユネスコエコパーク



「高い山、深い谷が育む生物と文化の多様性」

南アルプスの自然環境と文化を共有の財産と位置づけるとともに、優れた自然環境の永続的な保全と持続可能な利活用に共同で取り組むことを通じて、地域間交流を拡大し、自然の恩恵を活かした魅力ある地域づくりを図ることを目指しています。



南アルプス世界自然遺産登録推進協議会(2007年2月)

⇒南アルプス自然環境保全活用連携協議会(2016年7月)

(山梨県) 斐崎市、南アルプス市、北杜市、早川町

(長野県) 飯田市、伊那市、富士見町、大鹿村

(静岡県) 静岡市、川根本町

6

南アルプスユネスコエコパークの取り組み



○北杜市南アルプスユネスコエコパーク
地域連絡会（平成27年3月設立）
…市民、企業・団体等により組織
…北杜市環境保全基金を活用

○環境の保全（登山道清掃、水質調査ほか）

○文化・教育の振興（民話や民謡の調査・保存等）

○ブランドの開発（中長期計画の策定ほか）

○ツーリズムの振興（アンケート、コース作りほか）



世界に誇る「水の山」プロジェクト

南アルプスユネスコエコパーク登録を機に、名水の里日本一の北杜市と水資源の保全活動を積極的に行う企業が、互いに手を結び南アルプス地域を起点に世界に誇る「水の山」としてその価値を世界に広め、市民の皆様と共に北杜市全域の地域活性化を目指していくブランド推進プロジェクトです。

世界に誇る「水の山」宣言

ユネスコエコパークに登録された南アルプスの甲斐駒ヶ岳や日本百名山八ヶ岳、金峰山・瑞牆山、その他の美しい山々は、日本の名水尾白川、八ヶ岳南麓高原湧水群、金峰山・瑞牆山源流、そして名瀑精進ヶ滝その他の清らかな水環境を生み出しています。

私たちは、清らかな水の恵みや豊かな日ざしを受け、自然と調和しながら暮らしてきました。

水は、私たちの命や健康、生活、そして産業といったあらゆる活動の根幹に関わる大切な資源であり、豊かで清らかな水を守り育むことは、現代社会において求められる大きな使命であると考えます。

急峻な山や豊かな森と共生していくことこそが、軟らかくおいしい水を生み出し、人間らしい心と体をとりもどします。

北杜市の自然を人類の貴重な財産として守り育て、その価値と魅力を伝えつづけることを誓い、世界に誇る「水の山」を宣言します。

2015年5月19日

北杜市長 白倉 政司

マスコットキャラクター

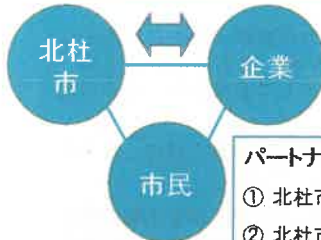


世界に誇る「水の山」を象徴するキャラクター「ミズクマ」を開発。

森林生態系を代表し、森と人が共生するシンボルであり、市内にも生息する「クマ」と「名水」をあわせ「ミズクマ」と呼びます。

ポスターやのぼり、市職員の名刺など市内を中心にあらゆる場所で掲出し、積極的に活動をアピールしております。

パートナーシップ企業・サポーター企業



○パートナー協定

○サポーター登録

パートナーシップ企業 7社(水の山ブランドの推進と地域の活性化を図る)

- ① 北杜市の「水の山」をイメージさせるブランド商品を有する。
- ② 北杜市の「水の山」を形づくる自然・文化・歴史の体験プログラムを有する。
- ③ 北杜市の環境保全に協力し、「水の山」を護る活動を行っている。

サポーター企業 35社(水の山ブランドの価値と魅力を積極的に発信)

- ① 水の山の価値と魅力を積極的に発信する。
- ② 水の山にこだわり、水の山に関する説明、おもてなしができる。
- ③ 北杜市の「名水」にこだわる製品(開発予定を含む)があることや「名水」にこだわる製品を販売する。

11

パートナーシップ企業

SUNTORY



七賢



金精軒



CHÂTERAISE



北杜市農業企業
コンソーシアム



ARJOA

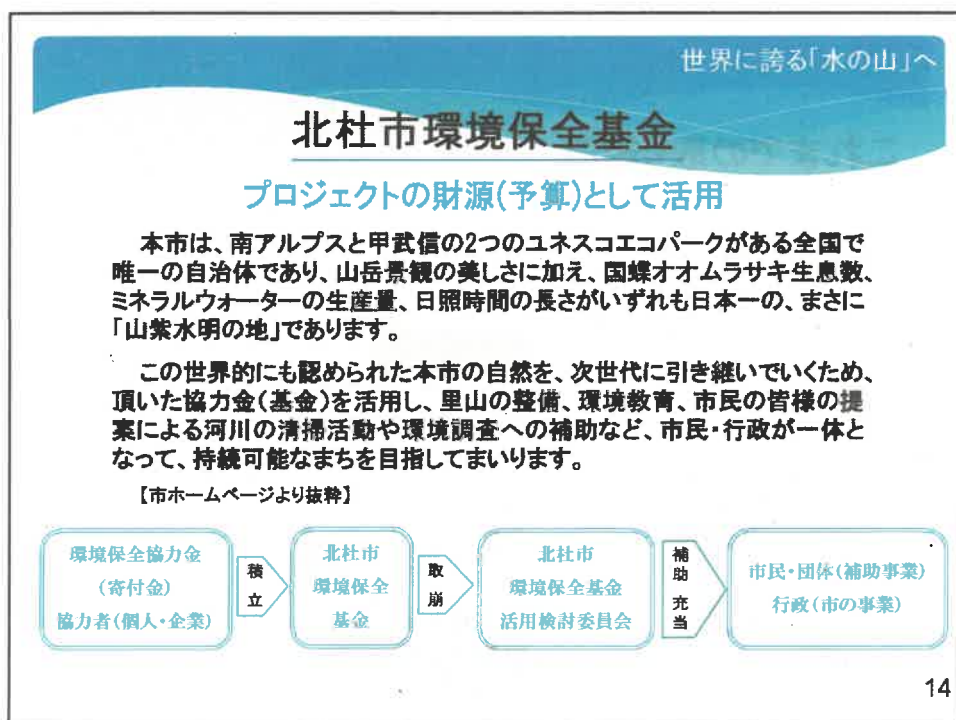


萌木の村



ROCK

12



これまでの取り組み

2015 (H27)

- 専用ホームページ
- ブランドブック・キャラクターロゴ
- リーフレット
- 天然水かき氷・マルシェスタート



2016 (H28)

- 水の山ウィーク(8月1日～11日)
(フォーラム、ツアー、デイキャンプ、映画祭等)
- 水の山フューチャーセッション



2017
～2018

15

これまでの取り組み

2017 (H29)

- 水の山フォーラム
- 水の山ツアー
- 水の山シナリオコンテスト



2018 (H30)

- 水の山ウィーク(8月1日～11日)
- 水の山コラム掲載
- 第1回北杜「水の山」映像祭
- 水の山こども情報局



2019
～2020

16

これまでの取り組み

2019 (R1)

- 水の山フォトコンテスト
- シナリオ教室
- アニメーション制作教室
- 第2回北杜「水の山」映像祭



2020 (R2)

- ラジオドラマシナリオコンクール
- 各種ノベルティの作成
- ※新型コロナの影響で
多数の事業が中止



2021
～2022

17

これまでの取り組み

2021 (R3)

- 令和元年度「水の山」シナリオ
コンクール最優秀賞の映像化・上映会
- 「水の山」プロジェクトの見直し



2022 (R4)

- 森と水の学校、学校でのSDGs授業
- 体験型観光プランの作成
- 農業体験・循環型農業の推進 etc



2023～
新たな
試みへ

18

2023(令和5年)～ 世界に誇る「水の山」 北杜ブランド推進事業

『ユースアイデアプロジェクト』

「水と暮らすサステナブルなまち北杜市」のブランド価値の構築

19

水の山ユースアイデアプロジェクト

<目的>

過去のパートナー会議において、「中高生向けの教育」「市民が水の価値に気づいていない」「実践・行動」が課題としてあげられた。

高校では地域のことや自分との関わりについて学びを深めていく「総合的な探求の時間」があり、高校生を対象に水資源・活用について知ってもらうことを目的に以下の通り実施するもの。

<概要>

- ①学校の枠を超えて、市内高校(北杜・帝京第三・甲陵)とサポーター企業が相互に学校と企業を行き来し、水と暮らすサステナブルな街の共感を生むための体験学習会や講演会、企業視察を実施する
- ②地域の特長(水や自然環境等)を知る機会、考える機会を創出し、市内に通う高校生の北杜市へのシビックプライドの醸成と持続可能な地域づくりの必要性等の浸透を図る
- ③水の利活用だけでなく、水源を保全する活動にも取り組む企業が市内に立地しているなどの認知拡大を図る
- ④取り組んだ内容や成果を市が取材し公式アカウントで紹介したりや拡散することで、高校生との連帯感と達成感も高めていく
- ⑤これら取組の中で得られた経験や知識から、水を活かしたサステナブルな未来を描くビジネスコンテスト等への自発的な応募により、全国に向け水の良さをブランド価値を広めていく

○体験学習会や講演会

高校生が一流に触れる特別感を。パートナー企業のサステナブルな取組状況やブランド戦略等を学び、触れ、考え、表現するための場を提供

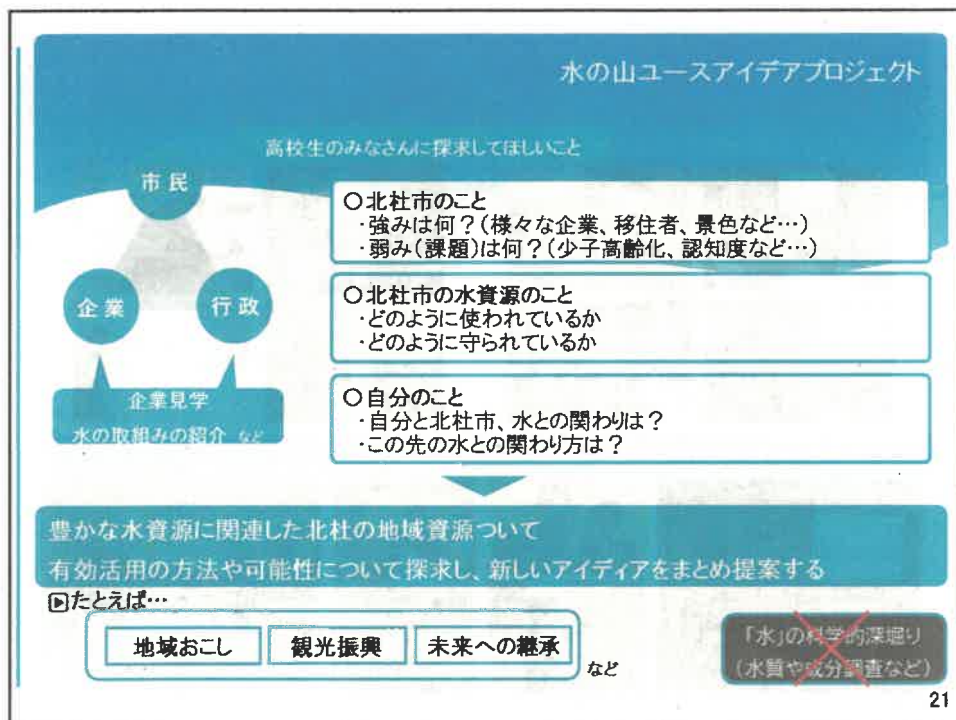


○企業視察

水育や工場見学など既存のコンテンツ



25



水の山ユースアイデアプロジェクト

第1回 企業からの説明・学校紹介など



第2回・第3回 企業視察



最終回 合同交流発表会



23

水の山ユースアイデアプロジェクト

令和5年度の取り組み発表内容

北杜市の観光について考える

甲斐高校

4 結果

観光客が多い
水産物は少ない
山脈が多い
地産の人口比率



10 考察

- ・幅広い年代で初めての人を増やす
- ・リピーターを増やす
- ・40代から60代は経済的に余裕があるのではないか
- ・30代や40代の子育て世代へのPR

ウォーターレジャー アクティビティ型 リゾートの開発

Cherry of Japan Project Team

10 世界の観光

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

観光客の増加

北杜の水をきれいに保つには？

山梨県立北杜高等学校 1年代表

家庭であることで 生活排水をださない工夫



エコポイント

- ・エコポイントの活用
- ・エコポイントの活用
- ・エコポイントの活用
- ・エコポイントの活用
- ・エコポイントの活用



24